

津麦ニューズ 平成30年産 第2報

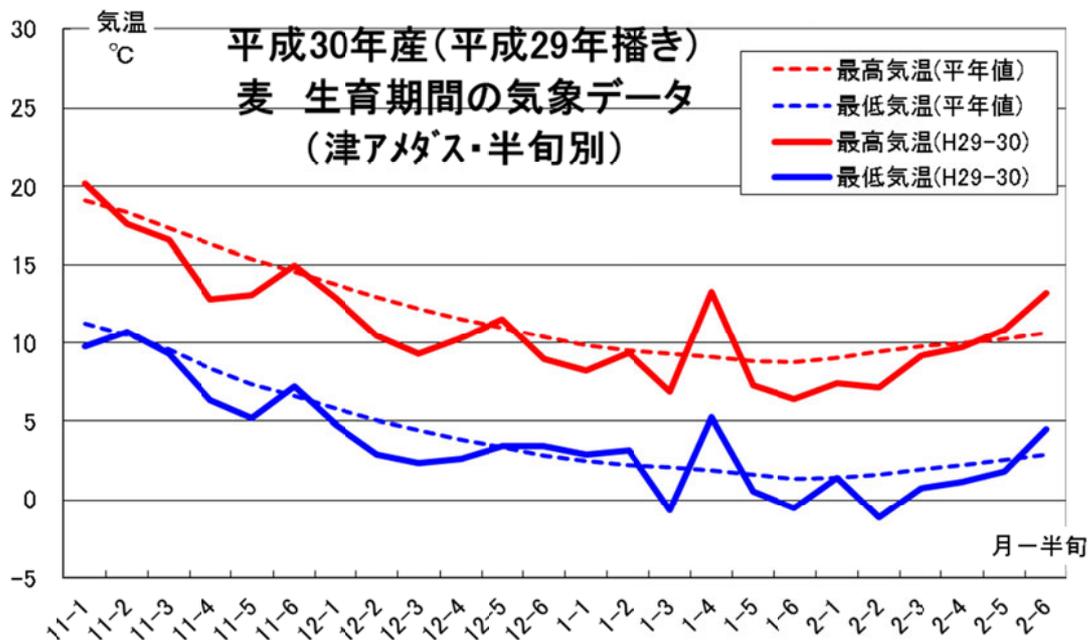
平成30年3月12日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5103

**播種が遅れた麦の生育は大幅に遅れています。
今後、適正な追肥を行い、穂数並びに品質を確保しましょう**

< 気象経過 >

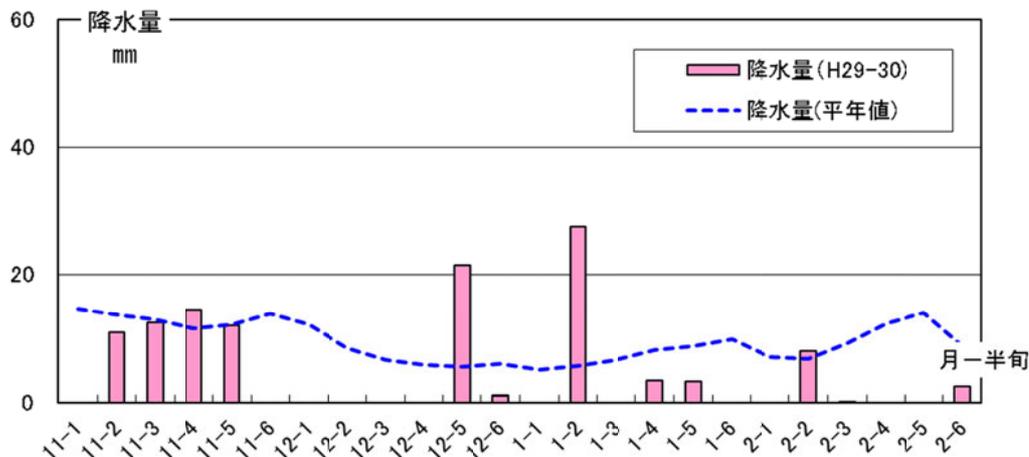
気温

気温は、11月以降平年に比べ低めに推移しています。特に1月第5半旬～2月第2半旬にかけては ；くなりました。2月第6半旬から気温が平年に比べやや高くなりました。



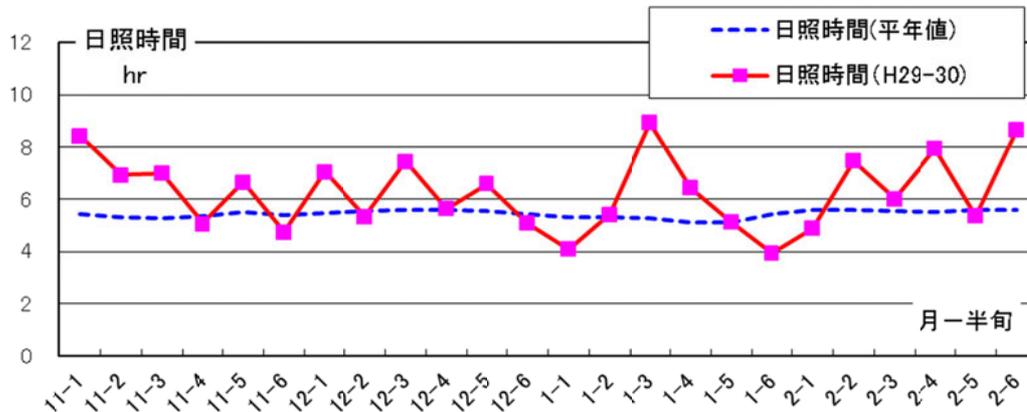
降水量

11月は定期的に降雨がありましたが、11月末から12月中旬にかけて雨があまり降ませんでした。12月 1月上旬にまとまった降雨があり平年より多くなりました。しかし、その後も降 少なく、全体的には平年に比べ半分程の降水量となっています。



日照時間

2月第6半旬から 第1半旬、1月第6半旬～2月第1半旬に日照時間は少なくなつたものの、全体としてはほぼ平年並み以上で推移しています。



< 麦の状況 >

生育状況

11月上旬に
月下旬以降に
半旬～2月第2
の後、2月第5
の、11月下旬以
ます。

小麦は6葉期頃になり幼穂形成期になっていますが、11
小麦は3葉期前後で分けつが始まったばかりです。1月第4
までの気温は平年をかなり下回り、生育が停滞しました。そ
降は気温も平年並み～やや高回り、生育は回復しつつあるもの
いたものは、依然と生育は遅れ、茎数が少ない状況にあり

(表1) 生育基準は調査結果(2月26日調査)

調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色SPAD	葉齢 L
安濃	11月10日	15.3	531	50.3	5.4
芸濃	11月27日	12.9	294	42.7	3.5
一志	11月5日	20.9	742	48.9	6.6
白山	11月7日	15.7	692	46.6	5.6

病害虫発生状況

現在のところ、コムギ縞萎縮病等の病害や虫害は観察されていません。

< 今後の対応 >

追肥

穂形成期(6葉期)を迎えたら、穂数確保のため追肥(窒素成分3～4kg/10a)
をします。また、止
効性肥料で基肥窒素
力が高いほ場
ながら、下記指標を
あやひかり

票

草丈(cm) $(\text{本/m}^2) \times \text{葉色}(\text{spad 値}) \div 10,000$

幼穂形成期(5葉期) $15\text{cm} \times 800\text{本/m}^2 \times 50 \div 10,000 = 60$

止葉抽出始期(3葉期) $50\text{cm} \times 700\text{本/m}^2 \times 42 \div 10,000 = 145$

麦踏み

麦踏みは、
14日間隔に実施し

非水溝の点検

冬期の降雨
作業等によって排水溝が埋まってしまう場合があるので、3
月中に溝の補修、排水路の連結をし、登熟期間に降雨後の停滞水がないように
しましょう。

赤かび病防除

開花期～開花盛期
防散布を必
る場合は追

かけて、かび毒の発生を抑えるため、コムギ赤かび病の予
ましょう。また、曇雨天が続き、赤かび病の多発性が心配され
ましょう。